

LOCAL INITIATIVES TRANSFORM JAPAN



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



前衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

『高額療養費制度』について

高額療養費制度とは、医療費の自己負担が高額になった場合に、一定の上限を超えた部分が払い戻される仕組みです。今国会では、負担上限額の引き上げが見送られました。病気やケガで医療機関を受診した際、健康保険によって通常 3 割負担となりますが、長期入院や高額な治療を受ける場合、自己負担額が大きくなり、家計に大きな負担がかかります。この制度の活用で経済的な負担を軽減できます。1 ヶ月にかかった自己負担額が所得に応じた上限額を超えた場合に、その超過分が払い戻されます。自己負担限度額は、70 歳未満と 70 歳以上で異なり、さらに所得区分でも変わります。

【70 歳未満の自己負担限度額(2024 年時点)】

所得区分	自己負担限度額(月額)
年収約 1,160 万円～(標準報酬月額 83 万円以上)	252,600 円 + (医療費 - 842,000 円) × 1%
年収約 770 万～1,160 万円(標準報酬月額 53 万～79 円)	167,400 円 + (医療費 - 558,000 円) × 1%
年収約 370 万～770 万円(標準報酬月額 28 万～50 万円)	80,100 円 + (医療費 - 267,000 円) × 1%
年収約 370 万円以下(標準報酬月額 26 万円以下)	57,600 円
住民税非課税世帯	35,400 円

【70 歳以上の自己負担限度額 70 歳以上の人は、外来の自己負担限度額が設定】

所得区分	外来(個人)	外来+入院(世帯)
現役並所得者(年収 370 万円以上)	18,000 円	57,600 円(高額時 140,100 円)
一般(年収約 370 万円以下)	18,000 円(年間上限 144,000 円)	57,600 円
住民税非課税世帯	8,000 円	24,600 円

高額療養費制度を利用するには、事前に健康保険組合や市区町村の国民健康保険窓口で「限度額適用認定証」を申請し、病院の窓口で提示すると、自己負担限度額を超える部分の支払いをせずに済みます。高額療養費制度は、予期せぬ病気やケガで医療費が高額になった際に、経済的な負担を軽減する重要な制度です。特に、長期入院や高額な手術が必要な場合には、大きな助けとなります。今秋までに新たな方針を決定しますが、今後とも持続可能な制度として堅持していかなばなりません。

秋葉賢也

確かな実現力! 秋葉賢也は走り続けます!!

《 今月のトピックス 》

【運転免許システム マイナ一本化へ】

3月24日からマイナンバーカードと運転免許証が一体化した「マイナ免許証」への移行がスタートしました！

移行後は免許証の保有が3パターンから選ぶ

- ① 従来の免許証だけ
- ② マイナ免許証だけ
- ③ 両方の免許証

※マイナ免許証だけの保有なら、住所や氏名の変更手続きが自治体への手続きだけで済み、取得・更新の費用も安くなり、免許更新時の講習をオンラインで受講できます。

【年収の壁『160万円』で決着！】

所得税の非課税枠「103万円の壁」の見直しを巡り与野党間で協議の結果、課税最低限を160万円に引き上げる与党修正案で決着しました。

「年収の壁」見直しを巡る与野党案と
国民民主党案の減税額

年収	与党 減税総額 1.2兆円	国民民主 減税総額 7.3兆円
200万円	2.4万円	8.8万円
300万円	2万円	11.3万円
500万円	2万円	13.3万円
800万円	3万円	22.8万円
1000万円	2万円	22.8万円
1500万円	3.4万円	32.8万円

タウンミーティング(国政報告会)

4月25日(金) 19:00～

若林区:若林市民センター

4月26日(土) 19:00～

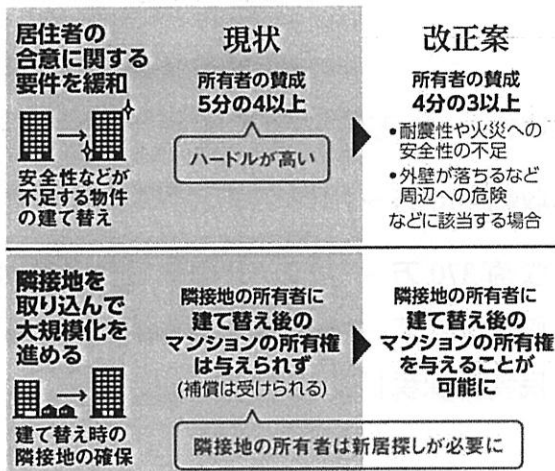
泉区:高森市民センター

【マンション「二つの老い」に対応

建て替えや改修しやすく法改正へ】

政府は老朽化が進むマンションの再生を促すための法整備に乗り出しました。建て替えや改修の規制を緩和し手続きや費用の負担軽減につなげる狙いで26年4月の施行を目指します。

マンションの再生を促す法案のイメージ



【医療従事者 8割「職場辞めたい」】

自治労調査で、全国の公立・公的医療機関で働く看護師ら1万434人(アンケート回答)のうち8割近くが現在の職場を辞めたいと考えていることが公表されました。辞めたいと思う理由として、「業務が多忙」が3,726件で最多、次いで「賃金に不満」が2,291件の回答でした。やはり医療の担い手の賃上げ・処遇改善が必須ですね。

kenya's PLOFILE

- 昭和37年7月3日宮城県丸森町生まれ。寅年・蟹座・A型・180cm・70kg。家族は、妻と息子3人。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)、同法学研究科博士課程後期満期退学。
- 財松下政経塾を経て、宮城県議会議員(3期)、衆議院議員(7期)。総務大臣政務官、厚生労働副大臣および復興副大臣、衆議院環境委員長、内閣総理大臣補佐官、復興大臣などを務める。
- 母校の中央大学商議員や保護司を務める。東北医科薬科大学講師、宮城大学講師などを歴任。



秋葉賢也事務所
www.akiba21.net

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477

Fax 022(375)0057